



東 俣 野 9月号

東俣野小学校 学校だより 平成29年8月28日

夏休みを終えて

校長 村田 幹男

38日間の夏休みを終えて、8月28日から前期後半がスタートしました。

今日からまた、皆様のお子さんを学校でお預かりします。よろしくお願いいたします。
今年の夏休みも多くの子どもたちと出会いました。

4、5年生は植物の水やりと観察に交代で来校。おかげですくすく成長し、実りの秋を迎えられそうです。

夏季水泳教室には、たくさんの子どもたちが参加しました。どの子もみんながんばっていらしたので、この夏ですいぶん力強い泳ぎになりました。本校のプールを会場にした区水泳大会では4年生以上32名が出場し、近隣の小学校の子どもたちと水泳の成果を競い合い、交流を深めました。他校とレースをするのは、子どもたちも気合いが入るようで、多くの子が自分のベストタイムを更新できました。

毎年恒例の地域のお祭りも楽しい思い出だったと思います。浴衣を着てむじゃきに買い物をしている姿、一生懸命御神輿をかついでいる姿など、いつもと違う雰囲気の子どもたちが見られました。和太鼓クラブのみなさんも、9月の八坂神社のお祭りに向けて、いっしょうけんめい練習に励んでいました。

夏休み前の朝会では、子どもたちに「夏休みは、ふだんなかなかできないことに挑戦するよい機会です。自分でどんなことをするか計画を立てて、いろいろな体験をしてください。」と話しました。これは各自の自由研究となってかたちに表れます。9月第1週目は夏休み作品展です。皆さんもぜひご参観にいらしてください。

何かを一生懸命に行ったことや続けて取り組んだことは、子どもたちの自信になり、今後の挑戦の原動力になります。また、自分で見たこと、聞いたこと、肌で感じた体験からは、大きな学びがあります。通常の学校の学習では体験できないことをできるのが夏休みのよさだと思います。

いよいよ前期も後半に入ります。夏休みの間の体験で学んだことや身に付けた力をぜひこれから活かして行ってほしいです。

これからまた残暑が続くと思います。体がまだ「夏休みのリズム」になっているようでしたら、学校生活のリズムに早く体をならして元気に登校できるように、ご家庭でもご協力をお願いします。